

# 15 米子市文化財保存活用地域計画【鳥取県】

【計画期間】令和5～12年度（8年間）  
 【面積】132.42km<sup>2</sup>  
 【人口】約14.7万人  
 【関連計画】日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」（H28年度）



## 指定等文化財件数一覧（令和5年9月現在）

類 型			国		県		市		計
			指定等	登録	指定等	指定			
有形文化財	建造物		1	17	1	2	21		
	美術工芸品	絵画	0	0	1	2	3		
		彫刻	0	0	2	2	4		
		工芸品	1	0	2	2	5		
		書跡・典籍	0	0	0	0	0		
		古文書	0	0	3	1	4		
		工芸及び古文書	0	0	0	1	1		
		考古資料	1	0	3	2	6		
		歴史資料	0	0	1	6	7		
無形文化財			0	0	2	1	3		
民俗文化財	有形の民俗文化財		0	0	1	2	3		
	無形の民俗文化財		0	0	2	3	5		
記念物	遺跡(史跡)		7	0	0	8	15		
	名勝地(名勝)		1	0	1	1	3		
	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)		0	0	1	3	4		
文化的景観			0	-	0	-	0		
伝統的建造物群			0	-	0	-	0		
計			11	17	20	36	84		

指定等文化財は、84件、  
未指定文化財は、2,821件把握

## 歴史文化の特性

### ■ 石馬さんが語る原始・古代の歴史文化

明治期の石馬の発見を契機に考古学の調査研究が行われ、縄文から平安時代までの優れた遺跡が集中していることが明らかになっている。

### ■ 交通の十字路としての歴史文化

中世から近世の米子は、東西に山陰道、北へは日本海を渡って隠岐、南は日野往来で美作をへて備中・備後の山陽へ向かう、山陰地方の交通の十字路だった。

### ■ 砂丘地に挑み、生きた人々の歴史文化

弓ヶ浜半島は、江戸時代中期に米川用水が開通して新田開発が盛んになった。砂丘地に挑んだ人々の暮らしには、行事や郷土料理が継承されている。

### ■ 商都の繁栄を支えた近代化の歴史文化

江戸時代の城下町米子は、近代以降、商都米子として発展し、インフラとして道路・鉄道・水道、発電などの近代化がいち早く行われた。

### ■ 大山さんと地蔵信仰の歴史文化

米子のどこからでも美しい姿を見ることができる大山は、ふもとに暮らす人々が日々「大山さんのおかげ」と感謝を捧げ、仰ぎ見る営みは今も息づいている。

## 推進体制

	主 体
行政	米子市（経済部文化観光局文化振興課、経済部文化観光局観光課、総務部防災安全課、総合政策部総合政策課総合戦略室、総合政策部地域振興課自治振興担当、総合政策部淀江振興本部淀江振興課、都市整備部建設企画課企画調整室、教育委員会生涯学習課）、国、県、関係市町村 等
地域	公民館、自治会、市民団体等
所有者等	寺院、神社、団体（保存会等）、個人、集落等
専門家	審議会・委員会等、大学・研究機関等、文化財保護指導員、NPO法人等
地域計画協議会	（仮称）米子市歴史文化遺産保存活用地域計画協議会

# 米子市歴史文化遺産の保存と活用に関する課題・方針・取組み（措置）

将来像

視点と課題

基本方針

措置の例

概要

重点的措置

【基盤づくりに関するもの】

視点1 米子の歴史文化を調べる・学ぶ

1-①調査研究  
未指定文化財や歴史・文化の総合的な調査を継続する



1 歴史文化遺産リストの更新  
◆行政  
◆R5~12

歴史文化遺産リストの補完・充実に継続的に行う。

重点  
①②

1-②情報提供  
地域の歴史文化遺産に関する理解を深めるための情報の提供を行う



5 「米子の歴史文化遺産」刊行  
◆行政  
◆R5~10

米子市内の指定文化財等を紹介する冊子を刊行する。

重点  
②

視点2 米子の歴史文化を後世に伝える・守る

2-①保存管理  
歴史文化遺産の滅失または散逸を防ぐ取り組みを進める



1 文化財指定・登録の推進  
◆行政・所有者等  
◆R5~12

指定等文化財の指定・登録を行い積極的に保存を図る。

重点  
②

2-②保存管理施設  
埋蔵文化財及び歴史文化遺産等の保存管理施設を整備する



9 資料収集保管方針の作成と収蔵計画の検討  
◆行政 ◆R5~7

収蔵品について、収納方法の改善等も含む収集保管方針を検討する。

重点  
②

2-③防災・防犯  
歴史文化遺産の防災・防犯対策等を推進する



14 歴史文化遺産ハザードマップの作成  
◆行政 ◆R8~10

災害に対する危険性を把握するため歴史文化遺産を落とし込んだハザードマップを作成する。

重点  
②

2-④継承者  
無形・民俗文化財の継承者及び継承機会の不足を解消する



22 淀江塾研修修了生自立支援  
◆所有者等・行政  
◆R5~10

後継者育成研修修了後の自立に係る支援を行う。

重点  
①

【活用に関するもの】

視点3 米子の歴史文化の魅力を活かす・楽しむ

3-①情報発信  
歴史文化を活かした地域づくりを進め、その魅力を発信する



1 米子城魅せるプロジェクト  
◆行政・専門家  
◆R5~12

米子城跡の価値や魅力を発信するための情報発信事業を展開する。

重点  
③

3-②公開活用  
歴史文化遺産の公開活用のための施設整備を推進する



7 歴史文化遺産公開活用施設の整備  
◆行政  
◆R5~10

歴史資料等の公開活用施設の整備を行う。

重点  
③

【人づくり、仕組みづくりに関するもの】

視点4 米子の歴史文化を担う人材を育てる

4-①担い手育成  
歴史文化の担い手、団体等を確保するとともに育成に努める



1 地域の宝さがしワークショップ  
◆地域・行政  
◆R5~12

地域の歴史文化遺産を発掘する宝さがしワークショップを行う。

重点  
①

視点5 米子の歴史文化を支える仕組みづくり

5-①組織体制ア  
所有者、担い手、関係団体、地域住民等と行政が課題解決へ向けて取り組んでいく仕組みをつくる



1 歴史文化遺産保存活用フォーラムの開催  
◆行政 ◆R5~12

フォーラムの議論を通して歴史文化遺産の特徴を共有する。

重点  
①

5-②組織体制イ  
指定管理者及び民間文化財保存活用団体との意識共有を図る



4 歴史館運営委員会の開催  
◆行政 ◆R5~12

歴史館運営委員会で具体的な取組みについて議論・提言を行う。

重点  
①

(1)保存に関する課題

①まだ把握できていない数多くの歴史文化遺産がある

②市民に提供される地域の歴史文化遺産の情報が十分ではない

③歴史文化遺産が滅失あるいは散逸する危険がある

④歴史文化遺産の保存管理環境が十分ではない

⑤歴史文化遺産の防災・防犯対策が十分ではない

⑥無形文化財・民俗文化財の継承が危ぶまれる

(2)活用に関する課題

⑦歴史文化を活かした地域づくりなどの取り組みが求められている

⑧歴史文化遺産の公開活用のための施設が十分ではない

(3)人づくり、仕組みづくりに関する課題

⑨歴史文化の担い手・団体などの減少・弱体化が進んでいる

⑩所有者等、地域、専門家と行政が協働する仕組みが十分ではない

⑪指定管理者及び歴史文化遺産保存活用を支援する団体などと行政の意識共有が不十分

「大山さんのおかげ」と感謝を捧げ、交流の歴史文化が息づくまち・米子

重点  
①  
地域で取組む歴史文化遺産の保存活用の仕組みづくり

重点  
②  
散逸（衰退・滅失）の危険性のある資料の調査研究及び保存

重点  
③  
歴史文化遺産の魅力向上と観光への活用

## 歴史文化遺産群

### 1 甕る弥生の国邑の歴史文化遺産群

角田遺跡から弥生時代の絵画土器が発見された。頭飾を付けて船を漕ぐ人々、高層の建物などがパノラマ風に描かれ、魏志倭人伝に記された倭人の国邑における日常や世界観を彷彿させる。



### 2 淀江潟を支配した王の墓と寺院の歴史文化遺産群

淀江潟のような湊となる入江や潟湖を勢力下に置き、日本海航路を差配した有力者の威容を内外に示すため、王墓と寺院がつくられる。



### 3 中世の祈りと戦乱の時代の歴史文化遺産群

西伯耆の中核城郭であった尾高城は、山陰道・日野往来の結節点として河岡城、手間要害などと共に毛利氏と尼子氏による攻防が繰り返された。



### 4 海城・米子城と城下町の歴史文化遺産群

「海に臨む天空の城」米子城は、天守（中村期）、四重櫓（吉川期）とされる2天守を擁し、内堀・外堀に守られた本格的な近世城郭である。



### 5 米子の小路と地藏信仰の歴史文化遺産群

加茂川沿いでは毎年8月23日、お地藏さんをきれいに飾って、「地藏盆」の宵祭りがにぎやかに行われている。祭りの主役は子供たち、お地藏さんはいつも子供たちの味方なのである。



### 6 砂丘地開発に挑んだ人々の営みの歴史文化遺産群

冬には小正月の火祭り行事が各地で盛んに行われる。弓ヶ浜半島では、歳徳神の神輿が集落を巡幸する、全国的にも類例をみないトンド行事が行われる。



### 7 鉄道の町・米子の近代化の歴史文化遺産群

近代化の旗手である鉄道は、新橋—横浜間の鉄道開通（明治5年）から30年後、明治35（1902）年、境—御来屋間に山陰初の鉄道が開業する。



### 8 鎮守の森とオオサンショウウオ、豊かな自然の歴史文化遺産群

中国山地は特別天然記念物オオサンショウウオの生息する清流が多くあり、日野川・佐陀川など市域を流れる河川の上流部には棲息地として良好な環境がある。



### 9 ふるさと米子の伝統的な暮らしの歴史文化遺産群

弓ヶ浜半島で広く珍重される郷土料理が「イタダキ」（ノノコ飯）で、近代の100年フード部門 明治・大正に生み出された食文化にも選ばれている。



## 歴史文化遺産保存活用区域

### (1) 米子城と城下町歴史文化遺産保存活用区域

江戸時代に米子の発展の基礎を築いた米子城跡と城下町である。近代以降の商都、鉄道のまちへと発展する中心市街地には、米子市のなりたちを示す歴史文化遺産が集積している。



### (2) 古代淀江潟歴史文化遺産保存活用区域

縄文時代から奈良・平安時代の古代遺跡が集中する地域。伯耆古代の丘公園として史跡の整備活用が行われている。県立むきばんだ史跡公園も含め、特徴ある古代の歴史文化を体感できる稀有な地域として親しまれてきた。



### 歴史文化遺産保存活用区域

次期計画以降他の3エリアについても、将来的に保存活用区域を新たに追加設定することを検討する。

- (1) 米子城と城下町歴史文化遺産保存活用区域
- (2) 古代淀江潟歴史文化遺産保存活用区域
- (3) 南部エリア
- (4) 弓ヶ浜半島エリア
- (5) 箕蚊屋エリア





## 4 海城・米子城と城下町の歴史文化遺産群

毛利一族で東出雲・隠岐・西伯耆11万石を支配した吉川広家は、本拠地である山深い月山富田城（安来市）に代わる居城を中海に接した湊山に築城しようとした。広家は関ヶ原の戦後に未完成のまま岩国へ転封となり、その後、駿府から伯耆国18万石の国持大名に封じられた中村一忠により「海に臨む天空の城」米子城と城下町が完成した。

### 歴史文化遺産群における主な課題

- ・まだ把握できていない数多くの歴史文化遺産がある
- ・歴史文化遺産の防災・防犯対策が十分ではない
- ・歴史文化を活かした地域づくり等の取り組みが求められている

### 歴史文化遺産群の主な方針

- ・米子城跡の総合的な調査研究を継続する（調査研究）
- ・崩落の危険がある米子城跡石垣の修理を行う（防災防犯）
- ・ライトアップなど米子城跡の魅力を発信するプロジェクトを推進する（情報発信）

### 歴史文化遺産群に関する主な措置

#### 群④-2 国史跡米子城跡石垣修理事業

石垣カルテの作成を行い、補修が必要な石垣の修理を行う。

◆行政 ◆R8～12

#### 群④-4 米子城跡調査研究

城郭の未解明部分の調査研究を文献調査も含めて計画的に進める。

◆行政 ◆R5～12



## (2) 古代淀江潟歴史文化遺産保存活用区域

米子市東部の淀江地域のうち古代淀江潟があった平野及び周辺に接する地域。縄文時代から奈良・平安時代の古代遺跡が集中する地域で、伯耆古代の丘公園として史跡の整備活用が行われている。県立むきばんだ史跡公園も含め、特徴ある古代の歴史文化を体感できる希有な地域として親しまれてきた。

### 歴史文化遺産保存活用区域における主な課題

- ・まだ把握できていない数多くの歴史文化遺産がある
- ・歴史文化を活かした地域づくり等の取り組みが求められている
- ・指定管理者及び文化財保存活用団体と行政の意識共有が必要

### 歴史文化遺産保存活用区域の主な方針

- ・大学の研究プロジェクトと連携して調査研究を継続する（調査研究）
- ・上淀廃寺にヒガンバナを植栽し、史跡に親しむ機会を提供する（情報発信）
- ・古代淀江の歴史文化遺産群が相互連携し、一体的な保存活用を目指す（組織体制）

### 歴史文化遺産保存活用区域に関する主な措置

#### 域②-1 むきばんだ史跡公園と伯耆古代の丘公園の連携

古代淀江の歴史文化遺産群が相互連携し、一体的な活用を目指す。

◆行政 ◆R5～12

#### 域②-2 東京大学人文淀江プロジェクト

大学の研究プロジェクトと連携して地域振興を図る。

◆専門家、行政 ◆R5～10

